

月 -

復命書

2009年 8 月 21 日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 望月厚司・田中敬五・兼高正男・中山道晴
水野敏夫・遠藤広樹・尾崎剛司・佐藤成子
池邨善満・後藤哲朗

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年8月20日(木) 16:00~20:30	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	静岡市役所第2委員会室・控室等での講義と意見交換
	(2) 対 応 者	白鳥 浩 法政大学大学院教授
3 目 的	静政会当時、政策アドバイザーとして、白鳥教授に、当局に政策提言する際、我々の現場調査・分析・問題点の提言のまとめなどの指導を仰いだが、新政会として、新たに、改めて、それらを土台に政策提言をするにあたり、我々がまとめた政策提言に講評をいただき、意見交換をする。	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 初めに、新政会としての、『スローガン・活動理念・基本政策・重点政策・行動指針』について感想を述べていただき、分野別に提言事業について吟味していただいた。以下、総論・健康、福祉・文化、学習(教育)・生活環境、防災・産業、経済・都市基盤の分野ごとに教授が指摘された主な内容である。 会派の構成・カラーがよくわかり良いのではないか。これからリファインする必要がある。会派としてどのような動き方をしていくか大事なことだ。分野として、都市経営分野が落ちているのではないか？農政、環境などももう少し論じていたのではないか？箱物、道路の提言がさすが減っている気がする。二元性の中で、政策集団として、どう政策立案能力を高めていけるかが重要	

なことだ。政策アドバイスをさせていただいて、この間、様々な議会等からどんな事をしたのか問い合わせが多くあったとのこと。議会改革につながるような政策提言が必要だ。シティーセールスは、市長のパーソナリティがとても大きな要素ではあるが、割に、球は投げやすくなったのではないか。問題点として、東京事務所のアンテナショップとしての機能充実がもっともっと必要だ。静岡おでんなどは、六本木などにも入っているのだし。具体的な住民協働が述べられていない。県大に医学部設置や、東海地震対応の全市域のネットワーク化など、議論が必要だ。公共交通の在り方、歴史資料館の建設(お城型なら尚可・防災目的含む)などこれから時間をかけて議論して形にしていく必要がある。清水港の広場の活用。

イベントをやっている時とやっていない時の差が激しい現実。青葉イベント広場にしても、通年、何かやっている状態を作る必要がある。夜真っ暗な街をなんとかしなければ。

マニフェスト2007に基づいて、政策がすすめられているが、どういう街になるのか、どうあるべきか、大きく言えば、日本の国をどうするのかに繋がるビジョンが見えにくい。マニフェストは事業別に細かく行程表に基づき具体的予算建てがなされるが、大きな政策の世界が見えにくい。都市経営の視点からするといささか、疑問がないわけではない。ビジョンを語ると行程表ができにくいなど歯がゆい部分である。

いづれにしても、これから、県政も川勝県政に変わり、市制も変わらざるを得ない。この会派の役割が大きくものを言うようになっていくと思う。皆さんに期待したい。

以上が議論の要約だ。

5 成果・市政への反映等

政策提言をまとめるまでも、会派での議論を重ね、かなりの時間を使った。今回も時間をたつのも忘れ、具体的に細かいことまで話しが進められた。我々の提言が市政を動かしていく原動力になると確信した。財源不足の中、しっかりと市民サービスを提供するために、何が良かったのか、何が意味なかったのか、われわれに、精査する目が育ちつつあると確信する。これからも、政策提言集団・新政会会派の活動は、市制で大きな意義を持つと思う。

(文責 佐藤成子)